

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公開番号】特開2011-123489(P2011-123489A)

【公開日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2011-025

【出願番号】特願2010-272464(P2010-272464)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月18日(2013.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷に有用な装置であって、

第 1 外面を含む第 1 部材と、

第 2 外面を含む第 2 部材と、

内面及び第 3 外面を含む定着ベルトと、

前記定着ベルトの前記内面及び前記第 2 外面の間の接触と前記定着ベルトの前記第 3 外面及び前記第 1 外面の間の接触とによって形成され、第 1 入口端部と、前記定着ベルトが前記第 2 外面から分離する第 1 出口端部とを含む第 1 ニップと、

前記定着ベルトの前記第 3 外面及び前記第 1 外面の間の接触によって形成され、前記第 1 出口端部から前記定着ベルトが前記第 1 外面から分離する第 2 出口端部へ延び、前記第 1 出口端部と第 2 出口端部との間が約 8 mm 未満の長さである第 2 ニップと、

前記定着ベルトの前記内面に接触し、約 10 mm 未満の半径によって規定され、かつ、前記第 1 ニップの前記第 1 出口端部から約 10 mm 未満の距離だけ間隔が開けられた湾曲した剥離端を含み、前記定着ベルトが前記剥離端において約 20° から約 30° の剥離角で曲がっており、前記剥離端から前記第 1 ニップの前記第 1 出口端部までの距離を変化させるように機構によって調整可能に移動できる、剥離装置と、を備え、

媒体が、前記第 1 ニップの前記第 1 出口端部から出た後に、前記第 3 外面から剥離される

装置。

【請求項 2】

前記第 2 ニップが前記第 1 出口端部と前記第 2 出口端部との間に約 2 mm から約 7 mm の長さを有し、前記剥離端が約 1 mm から約 2 mm の半径によって規定されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

印刷に有用な装置において表面から媒体を剥離する方法であって、該装置が、

第 1 外面を含む第 1 ロールと、

第 2 外面を含む第 2 ロールと、

内面と第 3 外面を含む加熱された定着ベルトと、

前記定着ベルトの前記内面及び前記第 2 外面の間の接触と前記定着ベルトの前記第 3 外

面及び前記第 1 外面の間の接触とによって形成され、第 1 入口端部と、前記定着ベルトが前記第 2 外面から分離する第 1 出口端部とを含む第 1 ニップと、

前記定着ベルトの前記第 3 外面及び前記第 1 外面の間の接触によって形成され、前記第 1 出口端部から前記定着ベルトが前記第 1 外面から分離する第 2 出口端部へ延びる第 2 ニップと、

前記定着ベルトの内側に設けられ、前記定着ベルトの前記内面に接触する湾曲した剥離端を含み、該剥離端が約 10 mm 未満の半径によって規定されるような剥離装置と、を備え、

前記方法が、

前記剥離装置を、前記第 1 出口端部と前記第 2 出口端部の間の距離が約 8 mm 未満となるように、また、前記定着ベルトが約 20° から約 30° の剥離角で曲がる箇所である前記剥離端から前記第 1 出口端までの距離が約 8 mm 未満となるように配置し、前記剥離装置は前記剥離端から前記第 1 ニップの前記第 1 出口端部までの距離を変化させるように機構によって調整可能に移動でき、

マーキング材料を搬送する媒体と前記第 1 ニップにおける前記ベルトの前記第 3 外面とを接触させ、

該媒体を、前記剥離装置によって、前記第 1 ニップから下流において、前記ベルトの前記第 3 外面から剥離する

方法。

【請求項 4】

前記第 2 ニップの長さが約 2 mm から約 7 mm であり、前記剥離端が約 1 mm から約 2 mm の半径によって規定されることを特徴とする請求項 3 に記載の方法。